

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場会社名 クルーズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2138 URL http://crooz.co.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小淵 宏二  
 問合せ先責任者(役職名) 経営戦略本部担当執行役員 (氏名) 稲垣 佑介 (TEL) 03-5786-7080  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日~平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	10,535	△11.9	1,162	△52.6	1,178	△51.5	798	△46.0
26年3月期第2四半期	11,952	—	2,452	—	2,430	—	1,478	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 804百万円(△45.9%) 26年3月期第2四半期 1,487百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	70.53	65.06
26年3月期第2四半期	130.89	120.76

(注) 1. 平成26年3月期第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、平成26年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載していません。

(注) 2. 平成25年10月1日付で、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首より株式分割が行われたものと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	7,807	5,831	74.3
26年3月期	8,389	5,253	62.3

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 5,801百万円 26年3月期 5,223百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2. 平成27年3月期の期末配当金は未定であります。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日~平成27年3月31日)

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定ができないことから記載していません。なお、当該理由などは、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	12,818,400株	26年3月期	12,818,000株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	1,493,400株	26年3月期	1,493,400株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	11,324,680株	26年3月期2Q	11,299,098株

(注) 平成25年10月1日付で、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首より株式分割が行われたものと仮定して、上記の株式数を記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による経済財政政策や日銀による金融緩和策を背景として、企業収益や個人消費に改善の傾向が見られ、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

インターネットビジネス市場においては、世界のスマートフォン普及が本格的に進み、モバイルインターネット領域が拡大を続け、その存在感をますます高めております。

当社グループの事業領域である、ソーシャルゲーム市場は急速に拡大し、スマートフォンゲームを対象とした国内市場は、平成24年に3,072億円、平成25年は5,468億円、平成26年は6,584億円（予測）と、今後も継続した拡大が見込まれており（注1）、世界市場では平成29年に1兆7,000億円規模に拡大することが予想されております（注2）。加えて、もう一つの事業領域であるEコマース市場の市場規模につきましても、日本国内で平成25年度に11.5兆円、平成30年度が20.8兆円と、年平均成長率が12.6%で推移すると予想されています（注3）。

そのような状況の中、当社グループにおきましては、平成24年10月に「アヴァロンの騎士」、同年12月に「HUNTER×HUNTER バトルコレクション」と、ヒット作を立て続けにリリースしたことで、国内トップクラスのブラウザゲームメーカーの地位を確立してまいりました。また、平成26年からApp Store、Google Play向けネイティブゲームの配信を開始し、日本を含む世界に展開をしております。ネイティブゲーム開発当初は、想定よりも多くの開発コスト及び期間を費やしておりましたが、現在までに複数本のネイティブゲームを開発・リリースしてきたことで、多くの経験を積むことができ、ネイティブゲーム開発当初と比較して、労務費や外注費などの開発コスト及び期間を大幅に効率化して、新しい開発ラインの創出を実現しております。具体的な施策としましては、ブラウザゲームにかかるコスト、主に労務費や外注費をブラウザゲームの売上規模に応じて適正化を図り、利益を確保し、ネイティブゲームについてはブラウザゲームで複数のヒットタイトルを生み出してきた実績を基に、RPG（ロールプレイングゲーム）をリリースする予定であり、現在、複数の新規タイトルの開発を行っています。

また、インターネットコマース事業においては、平成24年7月にサービスを開始して、初年度売上は約20億円、次年度は約65億円と1年で3.3倍に急拡大を遂げているファストファッション通販「SHOPLIST.com by CROOZ」（以下、「SHOPLIST」といいます。）の成長を更に加速させるため、引き続き商品数とジャンルの拡大、物流とプロモーションの強化をしております。このような取り組みの中、当第2四半期は四半期過去最高となる23億円を超える取扱高を記録し、前年同四半期取扱高約17億円の1.4倍となりました。また、10月以降には、新規ユーザーの獲得及びアプローチを目的としたテレビCM等のプロモーション強化や、「SHOPLIST」と「CROOZblog」のユーザー資産に向けて新しい価値を提供する2つの新規サービス、ラグジュアリーブランドのユーズドアイテムを取扱う「Reward by CROOZ」、誰でも簡単にユーザー同士で売買できるフリマアプリ「Dealing」をリリースしています。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は10,535,724千円（前年同四半期比11.9%減）、営業利益は1,162,424千円（前年同四半期比52.6%減）、経常利益は1,178,160千円（前年同四半期比51.5%減）、四半期純利益は798,769千円（前年同四半期比46.0%減）となりました。

（注1）株式会社CyberZおよび株式会社シード・プランニングの共同調査情報を基に記載しております。

（注2）International Data Corporationの調査を基に記載しております。

（注3）野村総合研究所の調査を基に記載しております。

セグメントごとの業績の状況を示すと次のとおりであります。

#### ①インターネットコンテンツ事業

売上高は6,181,950千円（前年同四半期比31.8%減）、セグメント利益は970,900千円（前年同四半期比57.1%減）となりました。

#### ②インターネットコマース事業

売上高は4,253,464千円（前年同四半期比52.7%増）、セグメント利益は155,591千円（前年同四半期比8.0%増）となりました。

#### ③インターネットソリューション事業

売上高は100,310千円（前年同四半期比2.3%減）、セグメント利益は35,933千円（前年同四半期比21.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金の減少880,884千円及び売掛金の減少227,632千円があった一方で、ソフトウェアの増加643,037千円などにより、7,807,710千円（前連結会計年度末比581,333千円の減少）となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、買掛金の増加161,516千円があった一方で、未払法人税等の減少1,140,137千円などにより、1,976,369千円（前連結会計年度末比1,159,300千円の減少）となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、配当金の支払226,492千円及び四半期純利益の計上798,769千円などにより、5,831,341千円（前連結会計年度末比577,966千円の増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、ソーシャルゲーム関連の新規性が高い事業を展開しており、当社新規タイトルの成長スピードを合理的に予測することが難しく、それに伴い広告宣伝費等の規模やその発生時期につきましても合理的に予測することが難しい状況となっております。

これらにより、現時点で合理的な業績予想の算定ができないことから、業績予想の開示を見合わせます。

なお、期中の業績の進捗を踏まえ、算定が可能になり次第速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,096,216	3,215,332
売掛金	2,223,249	1,995,616
その他	412,996	311,099
貸倒引当金	△1,513	△1,323
流動資産合計	6,730,949	5,520,725
固定資産		
有形固定資産	412,859	380,100
無形固定資産		
ソフトウェア	403,400	1,046,437
その他	3,128	2,927
無形固定資産合計	406,528	1,049,365
投資その他の資産	838,706	857,519
固定資産合計	1,658,094	2,286,985
資産合計	8,389,044	7,807,710
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	850,500	1,012,017
未払法人税等	1,483,318	343,180
ポイント引当金	20,278	24,369
その他	781,572	596,802
流動負債合計	3,135,670	1,976,369
負債合計	3,135,670	1,976,369
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	429,948	430,041
資本剰余金	419,948	420,041
利益剰余金	5,232,400	5,804,678
自己株式	△888,719	△888,719
株主資本合計	5,193,578	5,766,041
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,878	25,969
為替換算調整勘定	8,973	9,386
その他の包括利益累計額合計	29,852	35,356
新株予約権	29,943	29,943
純資産合計	5,253,374	5,831,341
負債純資産合計	8,389,044	7,807,710

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	11,952,067	10,535,724
売上原価	6,478,568	6,498,737
売上総利益	5,473,498	4,036,987
販売費及び一般管理費	3,020,866	2,874,562
営業利益	2,452,632	1,162,424
営業外収益		
業務受託手数料	5,517	1,328
持分法による投資利益	—	6,213
為替差益	—	12,239
その他	975	1,923
営業外収益合計	6,492	21,705
営業外費用		
支払補償費	—	2,000
投資事業組合運用損	3,472	3,795
持分法による投資損失	22,908	—
その他	2,105	173
営業外費用合計	28,486	5,969
経常利益	2,430,638	1,178,160
特別利益		
受取和解金	—	12,366
新株予約権戻入益	626	—
負ののれん発生益	326	—
特別利益合計	952	12,366
特別損失		
倉庫移転費用	—	2,713
事務所移転費用	16,817	—
その他	2,865	—
特別損失合計	19,683	2,713
税金等調整前四半期純利益	2,411,906	1,187,813
法人税、住民税及び事業税	994,882	319,402
法人税等調整額	△61,896	69,640
法人税等合計	932,985	389,043
少数株主損益調整前四半期純利益	1,478,920	798,769
四半期純利益	1,478,920	798,769

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,478,920	798,769
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,372	5,090
為替換算調整勘定	6,435	413
その他の包括利益合計	8,807	5,503
四半期包括利益	1,487,728	804,273
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,487,728	804,273

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,411,906	1,187,813
減価償却費	80,794	239,375
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△467	△189
ポイント引当金の増減額(△は減少)	4,829	4,090
賞与引当金の増減額(△は減少)	30,000	-
持分法による投資損益(△は益)	22,908	△6,213
投資事業組合運用損益(△は益)	3,472	3,795
倉庫移転費用	-	2,713
事務所移転費用	16,817	-
受取和解金	-	△12,366
負ののれん発生益	△326	-
新株予約権戻入益	△626	-
売上債権の増減額(△は増加)	△374,334	229,802
仕入債務の増減額(△は減少)	32,600	161,516
その他の資産の増減額(△は増加)	△109,569	37,221
その他の負債の増減額(△は減少)	△489,144	△201,406
その他	△248	△1,040
小計	1,628,614	1,645,111
利息の支払額	△73	-
利息の受取額	243	481
和解金の受取額	-	12,366
倉庫移転費用の支払額	-	△2,713
事務所移転費用の支払額	△14,020	-
法人税等の支払額	△327,607	△1,434,235
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,287,155	221,010
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△153,444	△39,692
無形固定資産の取得による支出	△56,982	△816,602
投資有価証券の取得による支出	△40,488	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	97,860	-
その他	△37,609	△14,613
投資活動によるキャッシュ・フロー	△190,664	△870,908
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	7,024	185
長期借入金の返済による支出	△184,094	-
配当金の支払額	△169,317	△226,492
財務活動によるキャッシュ・フロー	△346,387	△226,306
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,977	△4,679
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	752,081	△880,884
現金及び現金同等物の期首残高	1,776,239	4,096,216
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	40,022	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,568,342	3,215,332

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。